

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	市制施行 90 周年記念事業		
政策	計画の推進/全市民参加でつくるまち	担当課	総務課
施策①	みんなが参画できるまちづくりの推進	電話番号	0193-27-8411
施策②	地域活動の場の充実とまちづくり団体の連携	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	新規
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～令和9年度		
事業の概要			
釜石市は 1937 年に市制を施行し、2027 年に 90 周年を迎える。記念事業を実施することで、市民・関係者に地域の歴史や文化等の再認識を促し、一人ひとりの市との繋がり意識やまちづくりへの参画意識の向上を図り、市民の地域に対するアイデンティティ・シビックプライドを醸成するとともに、関係者の当市との更なる共創・つながり意識向上の機運を醸成することで、未来に向けた市勢の更なる発展の契機とするもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
急速な人口減少や少子高齢化等、当市を取り巻く環境や社会情勢が大きく変化している中で、今後も市勢が発展していくには市民による主体的なまちづくりへの参画やつながり人口の拡大等が必要不可欠であり、その意識や機運を今後も強力に醸成する必要がある。
目的
市民・関係者一人ひとりが当市に対してより一層愛着や誇りを感じ、市勢の参画者としての意識を向上させ、将来にわたる市勢発展の契機とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> <li>釜石市市制施行 90 周年記念式典の実施 釜石市の市制施行 90 周年を市民や関係団体などと盛大にお祝いし、講演、郷土芸能披露や記念誌・記念 DVD の作成、配布等を想定。</li> <li>市勢功労者表彰 90 周年記念事業対応分 高額寄付者や県外関係者等への感謝状の授与を想定。</li> </ul>		
事業費		
R 8	R 9	R 10
1661 千円	4851 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
記念事業を通じて、市民及び関係者の郷土愛やシビックプライドの醸成を図るとともに、当市とのつながり意識を高め、将来に向けた市勢発展の契機とされたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	かまいし未来づくりプロジェクト事業		
政策	計画の推進/全市民参加でつくるまち	担当課	総合政策課
施策①	みんなが参画できるまちづくりの推進	電話番号	0193-27-8413
施策②	地域活動の場の充実とまちづくり団体の連携	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和3年度～令和10年度		
事業の概要			
第六次釜石市総合計画の進捗管理を行うとともに、計画を円滑に推進するため、まちについてともに考え、ともに活動することを目的として「かまいし未来づくりプロジェクト」を開催し、市民目線で事業の検討を行うもの。また、当市の発展を支える人材の育成を目的として、プロジェクトメンバーと市内小中高校生との地域活性化に資する意見交換を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
ライフスタイルの変化に伴い住民ニーズが多様化・複層化している中で、求められる住民ニーズを的確に捉えるには、広く住民の意見を集める必要がある。また、人口減少・少子高齢化により、地域の担い手不足が生じており、将来に向けて持続可能な地域づくりを進めていくことが難しい状況となっている。	
目的	
人口減少・少子高齢化が進む中、持続可能なまちづくりを推進するため、住民のニーズを的確に捉えつつ、市と住民が協働し「ともに考え・ともに活動する」環境の構築を目指すとともに、第六次総合計画の効率的・効果的な進捗管理を行うもの。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かまいし未来づくりプロジェクトとの協働の中で、地域課題の解決に向け、住民が担う役割の検討及び実施する。</li> <li>・「市の未来を考える取組」の一環として、「かまいし未来づくりプロジェクトメンバー」、「釜石高校 SSH」及び「かまいし絆会議」による、未来に向けた具体的な取組の検討及び実施する。</li> </ul>		
事業費		
R 8	R 9	R 10
217 千円	217 千円	217 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
「かまいし未来づくりプロジェクト」は、多角的な視点からまちづくりを検討する場となっている。また、プロジェクトメンバーと市内小中高生との意見交換の機会を設けることで、次代を担う世代がまちづくりに参画できる仕組みが構築されている。今後は、市民の主体的な取組をいかに促していくかについての検討も含め、改めて議論を深めるよう努められたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	みんなで創る地域会議事業		
政策	計画の推進/全市民参加でつくるまち	担当課	まちづくり課
施策①	みんなが参画できるまちづくりの推進	電話番号	27-8454
施策②	地域活動の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	平成20年度～令和10年度		
事業の概要			
市民一人ひとりが主体的に地域づくりに関わり、地域の身近な課題の解決及び特色を生かした魅力ある地域づくりのために地域会議が行う事業に対し交付金を支出するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題			
人口減少や少子高齢化に伴い、町内会会員の高齢化や地域活動の担い手不足が顕在化しており、人材・財源の不足等により町内会単位では以前のような生活環境の維持が困難。			
目的			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と人、地域と人、地域と地域のつながりや活力が感じられるコミュニティの構築。</li> <li>・地域に根付く郷土芸能や地域行事等の継承を通して、地域に生きる子どもを含めた地域を担う後継者の育成。</li> <li>・住民自治の推進、まちづくり意識の高揚</li> </ul>			

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域会議交付金の交付。</li> <li>・地域活動の助言、支援。</li> <li>・把握した地域課題への対応方針や協議を目的とした「地域会議」の開催</li> </ul>			
事業費			
R 8	R 9	R 10	
5500 千円	5500 千円	5500 千円	

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
身近な地域課題の解決や地域住民のまちづくり意識向上に向け、事業を推進されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	集会所改修事業		
政策	計画の推進/全市民参加でつくるまち	担当課	生活環境課
施策①	みんなが参画できるまちづくりの推進	電話番号	0193-27-8451
施策②	地域活動の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和7年度～令和8年度		
事業の概要			
市内に48カ所整備されている市立集会所は、地域の活動拠点として広く地域住民等に利用されている。その中で、トイレの洋式化が進んでいない施設について工事を進め、利便性向上を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
震災以前に整備された集会所は、施設内に段差が多く手すり等もないことから、高齢者や車いす使用者の利用に不便が生じている。日向・新川原集会所の男子トイレは、汲取り式の和式便器が設置されていることに加え、トイレと廊下に段差があるため、子どもや高齢者等の利用に支障が生じている。	
目的	
誰もが利用しやすい施設となり、子どもや高齢者等の利用が促進され元気な地域づくりが行われるとともに、広く世代間交流が図られ、主体性をもった持続可能な町内会の運営が行われる。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①排水設備の整備（下水道法第10条）及びトイレ水洗化（下水道法第11条の3） ②和式便座を洋式便座に改修するなど、トイレのバリアフリー化を図る。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
8250 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
利用者が多いことや水洗便所の改造義務等は法で定められている事項であるが、緊急性を踏まえて実施に向け、事業を推進されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	若者応援事業		
政策	計画の推進/全市民参加でつくるまち	担当課	オープンシティ・プロモーション室
施策①	地域のアイデンティティ形成	電話番号	0193-27-8463
施策②	地域内外の交流の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	新規
5つの柱		補助・単独	補助
事業期間	令和2年度～令和10年度		

**事業の概要**  
 市内における若者の生活や活動を応援するため、大槌町と連携した若者交流イベントの開催、若者世帯の経済的負担の軽減を図るための新婚世帯への補助金の交付のほか、大学生等が市内での就職や地域とのつながりを深められるよう、インターンシップやゼミ活動など学生活動に関する経費の一部を助成する。また、若者に選ばれるまちに向けて、若者や企業を対象としたアンケート調査やワークショップ等を行うもの。

2. 現状・課題及び目的

<b>現状・課題</b>
意識調査では、結婚していない理由の上位に「適当な相手にめぐり合っていない」「結婚後の生活資金が足りない」が挙げられており、行政や民間団体などに希望する結婚支援について「経済支援・結婚祝い」が4割を占めている。これらから、住宅支援や経済支援を含め、若い世代の多面的サポートが課題となっている。
<b>目的</b>
第3期オープンシティ戦略におけるプロジェクト「ライフステージに応じた少子化対策・子育て支援」と人口減少対策の具現化として、出会い・結婚・出産・子育ての各ステージに応じた切れ目のない支援策や現代のライフスタイルに沿った取組みを行い、結婚に対する機運を醸成し、少子化に歯止めをかけ、社会減の回復と自然増の一助とする。

3. 主な活動及び事業費

<b>主な活動</b>		
①独身男女の出会いの場の創出②新婚世帯への経済的支援③若者の実態を把握し、若者の意見を施策に反映するため、市内の18歳～39歳に対し、若者定着に向けた地場企業意識調査を実施する。④同様に県内外の若者が市内の企業等での就業体験・ゼミ活動等を通じ、地域との関わりを生み出すことで、市内への就職やつながり人口の創出を図るため、学生活動に係る費用の一部を補助する。		
<b>事業費</b>		
R 8	R 9	R 10
9855 千円	9855 千円	9855 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
<b>評価結果</b>			
若者の定住・交流促進に向け、交流イベントの実施や経済的支援、学生活動への助成を行うとともに、調査等を通じた施策検討に努められたい。			